

**製品名: UCP2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81626**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	33.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	UCP2
別名	UCPH; BMIQ4; SLC25A8
遺伝子 ID	7351.0
SwissProt ID	P55851
免疫原	大腸菌で発現したヒト UCP2 (AA: 1-309) の精製された組み換え断片。

**背景**

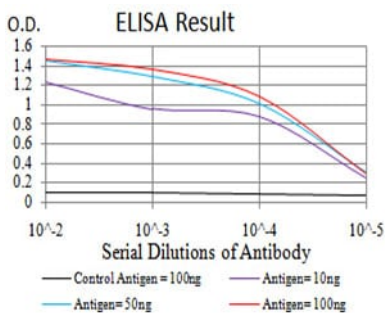
ミトコンドリア脱共役タンパク質 (UCP) は、ミトコンドリア陰イオン輸送タンパク質 (MACP) ファミリーのメンバーです。UCP は、ミトコンドリア陽子漏出とも呼ばれる熱としてエネルギーを消費することで、酸化的リン酸化と ATP 合成を分離します。UCP

は、ミトコンドリア内膜から外膜への陰イオンの移動と、外膜から内膜への陽子の移動を促進します。また、哺乳類細胞におけるミトコンドリア膜電位を低下させます。UCPの種類によって組織特異性があり、UCPがH<sup>+</sup>/OH<sup>-</sup>を輸送する正確な方法は分かっていません。UCPは、MACPの相同タンパク質ドメインを3つ含んでいます。この遺伝子は多くの組織で発現しており、骨格筋で最も多く発現しています。非ふるえ熱産生、肥満、糖尿病に関与していると考えられています。染色体の順序は5'-UCP3-UCP2-3'です。

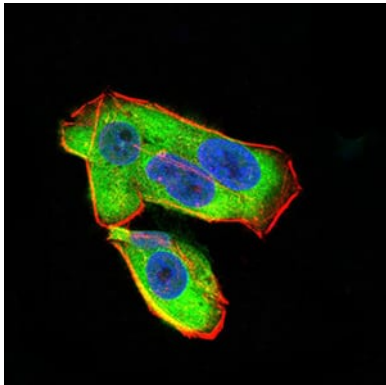
## 研究分野

-

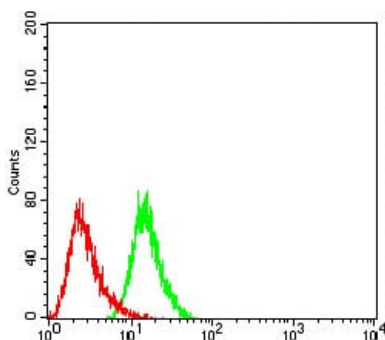
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



UCP2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



UCP2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。